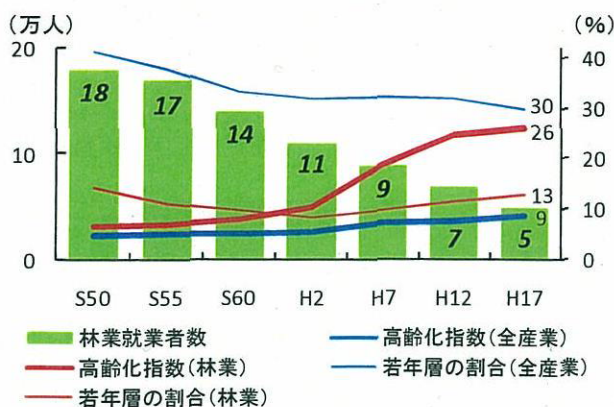


一目でわかる林業労働（データ編）

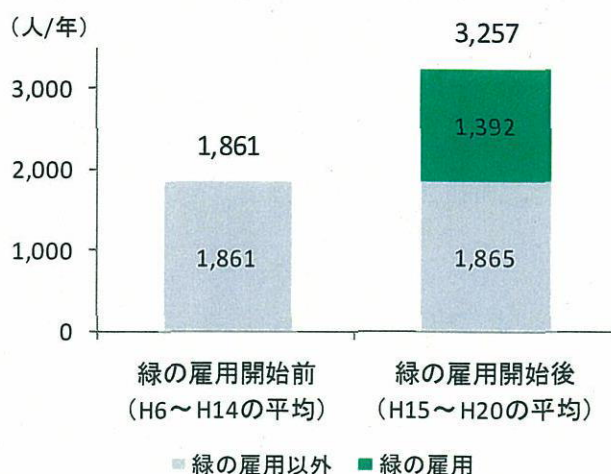
○林業就業者は減少・高齢化



資料：総務省「国勢調査」

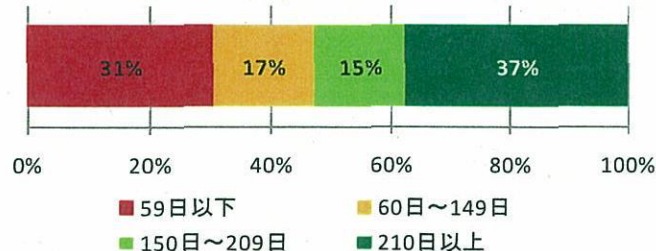
注：高齢化指数とは、総数に占める65歳以上の割合
若年層の割合とは、総数に占める35歳未満の割合

○新規就業者は毎年3000人程度



資料：林野庁業務資料

○約3割が年間60日未満での就業



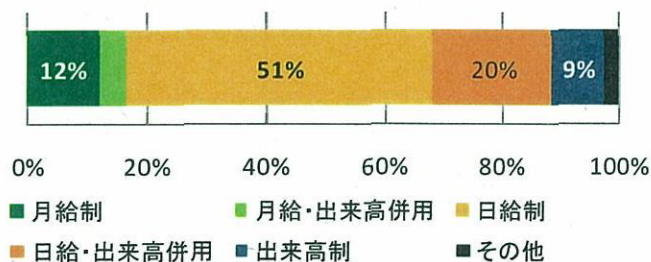
資料：林野庁「森林組合統計(平成19年度)」

○労働災害発生率は全産業の12倍

死傷年千人率	
全産業	2.3
林業	29.5
木材製造業	9.2

資料：林災防「林材業労働災害防止年報(平成19年度)」
注：千人率とは、1000人あたり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を表したものの。

○日給制が約7割



資料：森林組合統計(平成19年度)

○休日は日曜日や雨天日が多い

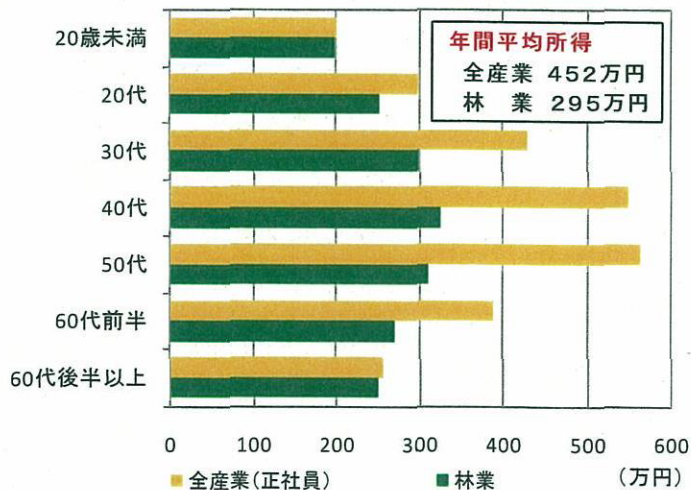
休日を「日他、日祝他、他」とする事業体 56%

資料：林野庁業務資料

注：ハローワーク・インターネットサービスで、就業形態を「一般求人」、希望する職業を「農林漁業の職業」、希望する産業を「林業」で条件設定し検索したH21.3.2現在の結果である。

○現場での始業時間は8時頃が多く、季節や天候に左右される

○平均所得は全産業に比べ約150万円安い

資料：総務省「就業構造基本調査(平成19年)」、林野庁業務資料
注1：全産業(正社員)は、就業構造基本調査における年齢別、所得別の有業者数により重み付けし試算。
注2：林業は、平成19年度アンケート調査結果における年齢別、所得別回答者数により重み付けし試算。

裏面もご覧ください。

一目でわかる林業労働（写真編）

○現場での作業風景



植栽作業



下刈り作業



除伐作業



伐倒作業

○現場で使われる主な高性能林業機械



ハーベスタ（558台）

従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。



プロセッサ（1,086台）

林道や土場などで、全木集材されてきた材の枝払い、測尺、玉切りを連続して行う自走式機械。



フォワーダ（914台）

玉切りした短幹材をグラップルクレーンで荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。

注：（ ）内の数字は平成19年度末現在における全国での導入台数である。